

「多民族・多宗教社会における不寛容の位相と融和」研究会

「ウクライナ難民受け入れにみる ドイツの社会統合と教育保障の課題」

ドイツでは第二次世界大戦後、ナチズムへの反省から、世界に類をみない寛大な難民庇護の法制度確立のもと、難民の受け入れが進められてきた。そのドイツにおいて、現在、ウクライナ難民の受け入れはどのような状況にあるのか。

住居や労働市場、教育へのアクセスを中心に、社会統合と教育保障の課題について検討したい

2023年7月14日(金)

17:00～18:30

ZOOMによるオンライン研究会

- **報告者** **布川 あゆみ 氏** **東京外国語大学 准教授**
- **コメント** **小山 晶子 氏** **東海大学 教授**
- **司会** **若松 邦弘 氏** **東京外国語大学 教授**

本企画は2023年度東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの支援を受け実施されています。

